



## JUNBA 理事会(第 186 回)議事要旨

日時: 令和 6 年 6 月 20 日(木) 15:00~16:00

場所: 日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター(オンライン)

出席者: 17 名

【理事】丸山会長(桜美林大学)、North 副会長(大阪大学)、神山理事(名古屋大学)

【事務局】(中別府事務局長・兼常務理事) 池田副センター長、Hughes(JSPS サンフランシスコ研究連絡センター)

【会員/オブザーバー】北島・吉田(京都大学)、東澤(大阪大学)、増山・松崎・青木(東京大学)、Johnson(早稲田大学)、神戸大学、三宅(立命館大学)、熊谷(California Department of Public Health)、豊嶋(大学改革支援・学位授与機構)、近江(在サンフランシスコ日本国領事館)

### 1. 会長挨拶(丸山マリ会長)

### 2. 理事会 議題・報告

JUNBA 事務局からのお知らせ

(1) 前回理事会の議事要旨について

事務局から、事前に共有された資料について追加・修正等の意見がなかったことについて説明があり、原案どおり承認した。

(2) 個人会員の申込について

事務局から、資料に基づき説明があり、一名の個人会員の入会を承認した。

なお、今後、個人会員にも JUNBA に関連した活動やウェブサイト等の情報を JUNBA 活動計画のエクセルシートへの記入を依頼し、JUNBA 理事会での活動報告などもお願いすることとなった。

(3) 各拠点の令和 6 年度の活動計画について

資料に基づき、

活動計画について確認した。

### 3. 活動報告

京都大学 北米拠点長 北島薫 氏

北島氏から京都大学における国際化推進の取組みとして、国際社会とのパートナーシップ・海外のセンター・学生交換協定の紹介のほか、ストラテジー・パートナーシップを締結している海外の大学や海外拠点として 11 のオンサイト・ラボの紹介、シンポジウムの開催状況、サマープログラムなどの海

外大学との学生交流等について詳細な説明があった。発表後、質疑応答を通して、次のような追加説明及び意見交換があった。

・北島先生: フロリダ大学(20~50名参加)のプログラムはフロリダ大学の教授がデザインしたこと、フロリダ州は学生に1年間のインターンシップや留学を奨励していること、120名の応募に対して、50人が参加できたこと、このコースは有償で業者が宿泊場所、交通機関を準備してくれていることについて説明があった。

・北島先生: フロリダ大学とのプログラムはまだ3年目なので、まだ成長中の事業であるが、今後はサービスによっては課金することはあり得ることについて説明があった。

・北島先生: 海外ラボから多額の資金を要求されることについて、UCSDのラボに関しては、当初は国からの資金援助があったこと、この研究は産業界への応用が大きいので、助成金が多く集まったこと等について説明があった。

・北米への海外留学は、円安の影響を受け、住居費、航空賃、食事などがいずれも高いことが各大学において悩ましい問題であることについて意見交換があり、今後も継続的にどのような解決策があるのか等について、意見交換を行っていくことにした。

#### 4. その他

・各メンバー(個人会員を含む)が抱えている問題や課題について、FAQのようなものがあるのではないかという意見があり、今後検討していくこととした。

・現在、立命館大学三宅氏から、JUNBA 理事会の加入手続きを進めていることについて、報告があり、7月のJUNBA 理事会までに団体会員の加入申請が間に合うか分からないが、活動報告を行うことについて発言があった。

最後に、次回理事会の日程について、以下のとおり案内がなされた。

- ・ 2024年7月25日(木)15時00分~(PDT)  
7月25日(木)18時00分~(EDT)  
7月26日(金)7時00分~(JST)

※ 立命館大学三宅先生に活動報告をいただく予定